

# リョービ株式会社

的確な「価値訴求」で売れる!

## 芝生をいきいきと育てる芝刈機

### リョービ電子芝刈機「LM-2310/2810」

芝生を活性化するための知識を持つ消費者は少ない

手入れの行き届いた美しい芝生には誰もが憧れを持つが、実際に美観を維持するための知識がなかなか伝わっていない。リョービのリアル電子芝刈機「LM-2310/2810」は、2012年に発売された人気機種で、単に伸びた芝を刈るだけでなく、芝生を適切に管理するために必要なさまざまな機能を備える。さらに別売のアク



↑「根切り」のイメージ図。ほふく茎を適度にカットする  
 ↓ アクセサリー「サッチング刃」を装着した状態。細く突き出た刃が古い葉や刈りカスを取り除く  
 ↓ アクセサリー「根切り刃」を装着した状態

セサリーを使用することで、長く美しい芝生をつくることになった。設計が特徴の製品だ。

芝を刈ること自体はどのような機種でも可能だが、芝を永く美しく育てるためには、芝のコンディションにあったメンテナンスが必要。それができるからこそ、「LM-2310/2810」は支持されてきた。

重要なメンテナンス作業として挙げられるのは「サッチング」と「根切り」。「サッチ」とは、芝の合間に残った古い葉や根、刈りカスなどのことで、

これを除去することを「サッチング」と言う。放置すると害虫の発生原因となつて芝の生育に害を与えるが、完全に刈り除いてしまうと保湿機能を失うことにもなる。したがって適度に刈り除く作業が必要だ。

#### 芝刈機に必要な機能を店頭から情報発信すべき

芝の育成に、最も重要なこととした基本知識を持った消費者は少ない。そのためせっかく芝を植えても、手入れ方法がわからないまま、枯らしたり、荒らしてしまつてあきらめて放置されるケースが意外に多い。

リョービの電子芝刈機は、こうした問題を解決し、永く美しい芝を楽しんでもらうために開発された。その優位点の第1は、「サッチング」や「根切り」専用のアクセサリが用意されており、簡単に作業できること。これを行うかどうかで数年後の芝の状態は大きく違ってくる。

そのほかリアル刃の回転数を安定させる電子制御や、切れ味につながる固定刃の刃先の2面研磨など、「LM-2310/2810」の優れた特徴は多い。こうした機能を十分に訴求し、価格だけではわからない「価値」を店頭でも伝えていくべきだろう。

## リョービのこだわり 芝を育てる芝刈機

リョービの電子芝刈機は、1台で全てできる

# 芝刈 ←→ 育成

から まで

**1** 切れ味の良い刃で芝を刈る  
(2面研磨・刃研ぎ)  
ムラなくキレイに刈れる  
(電子制御)

**2** 芝地に堆積した刈りカス  
(サッチ)を除去する

**3** 芝の根を切り土壌を改善する



サッチング刃  
別販売品



根切り刃  
別販売品

リョービ株式会社

発売元 リョービ販売株式会社  
〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

0570-666-787

詳しい情報は  
芝刈機の専用  
サイトから▶

